

## Viscuit を用いた学習

- ◎ 学年 教科等 4年生「国語科」
- ◎ 単元名「漢字を使って読みやすい文を書こう」
- ◎ 実行環境 Viscuit を iPad で利用 (2人1組)

本授業は、本校のプログラミング教育公開授業として行ったものである。

## 第4学年国語科指導案

### 1 単元名 漢字を使って読みやすい文を書こう

### 2 単元設定の理由

本学級の児童は、何事にも意欲的で、話し合い活動ではお互いの意見を出し合い協力して取り組むことができる。しかし、書く活動には苦手意識を持っている。作文や日記などでは、漢字を覚えていても平仮名ばかりで文を書く傾向がある。平仮名だけの文でも書いた本人には問題なく読めるため、漢字を使うことの必要性を感じていないのが原因であると考えられる。読み手側の立場になって、読みやすい文章を書くという意識が無いとも考えられる。二分の一成人式に向けて書いた親への作文や国語科『「ゆめのロボット」を作る』で書いた作文でも、平仮名ばかりになっている作文が多く、漢字仮名交じり文に直した。しかし、漢字を入れることで読みやすくなったと実感できた児童も多かったが、すぐに平仮名ばかりの文章に戻る児童がほとんどであった。

本単元では、漢字仮名交じり文のよさを知り、漢字を使って読みやすい文を書こうとする態度を育むことをねらいとしている。漢字仮名交じり文は日本語の大きな特徴の一つである。表音文字である平仮名や片仮名だけで文を表した場合、言葉の意味や切れ目を類推しなければならないため、読み手は意味を正確に捉えることは難しい。日本語は、ある程度特定された意味を持つ漢字と音を表す仮名とを組み合わせて用いることで、意味を正しく読み取れるようになっている。

そこで、まず平仮名だけで書かれた文の読みにくさを実感させ、漢字を使った文に書き直す活動を行う。漢字を使用することで、分かりやすい文を書き、読み手を意識して文章を書くことの必要性を実感させ、作文に生かす態度を養いたい。

本時では、第1時で学習した平仮名だけの文を漢字仮名交じり文に直すことのよさを伝える活動を通して、漢字を使うことの利点について更に実感させたい。プログラミング言語「Viscuit」による視覚ツールを活用し、言葉だけの説明ではなく視覚的に分かりやすく表現させ、他者に漢字を使うことのよさについて伝える活動を行う。他者に漢字を使うことのよさについて分かりやすく伝える活動を通して、漢字仮名交じり文のよさについて実感を伴った理解を図りたい。

### 3 単元の目標

- 漢字と仮名の特徴を知り、漢字仮名交じり文のよさを理解することができる。
- 「Viscuit」を活用して、漢字仮名交じり文のよさを伝えることができる。

### 4 単元の評価規準

- 漢字と仮名を用いた表記に関心を持って、文を読んだり書いたりしようとしている。
- 漢字仮名交じり文のよさについて読み手を意識しながら表現し、伝えようとしている。

【国語への関心・意欲・態度】

- 漢字仮名交じり文の特徴を理解し、読みやすい表記を考えて書いている。伝国(1)イ(イ)

【言語についての知識・理解・技能】

- 意味が正しく伝わるように、漢字と仮名を使って文を書き直している。B(1)オ

【書く能力】

5 単元の指導計画（全2時間）

第1次 平仮名や片仮名の特徴と漢字の働きについて確かめる。・・・1時間

第2次 学習を振り返り、漢字仮名交じり文のよさについて理解したことを「Viscuit」を用いて確かめる。・・・1時間

6 本時の学習（2/2時間）

(1) 目標

「Viscuit」を使い、漢字仮名交じり文のよさについて他者に分かりやすく表現し伝えることで、実感を伴った理解ができる。

(2) 展開

学習活動	○指導及び指導上の留意点	◇評価規準【観点】(方法)
<p>1 前時の復習をし、本時の学習課題をつかむ。</p>	<p>○前時の復習をし、漢字仮名交じり文のよさについて押さえ、本時の学習課題をつかませる。</p>	
<p>漢字かな交じり文のよさを伝えよう。</p>		
<p>2 ペアで平仮名だけの文を漢字仮名交じり文に直す。</p>	<p>○三つのグループごとにお題を出し、まずはペアでプログラミングさせる。</p> <p>○どのように表現すれば漢字仮名交じり文のよさについて視覚的に分かりやすく伝えることができるか、意見を出し合わせ、プログラミングさせる。</p> <p>○どのように表現したいのかを問い、構想を言語化させ、実現できる方向へとプログラミングできるように助言する。</p>	<p>◇読み手を意識し、よさが伝わるようにどのように表現すればよいのか考え、意欲的に取り組んでいる。【関】(行動観察)</p>
<p>3 グループで作品を見せ合い、代表の作品を選び、発表する。</p>	<p>○ペアでできた作品をグループで見せ合い、漢字仮名交じり文のよさがよく伝わる作品を代表に選ばせる。</p>	
<p>4 本時の学習を振り返り、感想を発表する。</p>	<p>○知識として前時に学習した漢字仮名交じり文のよさについて、本時の学習活動を通すことで気づいたことや感じたことを発表させる。</p>	

(3) 評価

「十分満足できる」と判断され	プログラミングを通して、読み手を意識しながら、漢字を用いることのよさを伝え
----------------	---------------------------------------

る状況	る工夫を意欲的に考え、漢字仮名交じり文のよさを実感することができている。
「おおむね満足できる」状況を実現するための手立て	どのようにプログラミングすると漢字仮名交じり文のよさについて表現できるのか、作成について助言したり、手助けしたりする。

授業研究会および参会者からの電子メールにより、例えば次の様な感想いただいた。

- ・ 授業者が事前によく準備し、トラブル無く円滑に活動することができていた。
  - ・ 子供たちも、最後まで集中力を切らさず、学習のめあての達成に取り組んでいた。
- 一方次の様な課題もいただいた。
- ・ 本時プログラミングにおいて、文節が大切にされておらず、国語科の学習としては疑問が残る。(複数)
  - ・ 国語科の学習としては、例えば文節カードを並べ替える活動等で十分教科の目標を達成できるものを、あえてプログラミング学習で扱った良さを見出し難かった。
  - ・ 事前にプログラムを構想する時間を設けたり、ワークシートを利用したりすると、意図したことを表現できるのではないか。

このような指摘を真摯に受け止め、次年度以降のプログラミング教育の指導計画作成や、具体的な進め方等に参考にしたいと考えている。